

音楽科 6年

題材名：つくった音楽をみんなに届けよう（和音の音で旋律づくり）

<p>本時のねらい</p>	<p>自分のつくった旋律について、どう工夫したいか思いを旋律シートに位置付けたり、友達のとくった旋律と比べることによりリズムや音の動きの違いやよさに気付いたりすることを通して、よりイメージに合うように工夫することができるようにする。</p>
<p>評価規準</p> <p>具体的な児童の姿</p>	<p>自分のつくった旋律について、よりイメージに合うように工夫している。</p> <p>イメージに合うようにどう工夫したいか思いを旋律シートに書いている姿</p> <p>イメージに合っているか友達の旋律を聴きながら考え、伝えている姿</p> <p>よりイメージに合うためにリズムをたたいたり、つくった旋律を演奏したりして試す姿</p> <p>「高い音を多くしたり8分音符を多く入れたりしたら、思ったイメージの明るく元気が出る曲になって、よかった。」</p>

時間	児童の活動	指導○及び留意点・◎評価（方法）※支援を要する児童への手立て	準備物
6分	1. 前時を想起し、課題をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて イメージに合う旋律をつくろう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○音階やリズムを工夫している自分の旋律を演奏して、前時を想起できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童数名の旋律を紹介し、どんなイメージがするかを考えさせる。 ○教師のモデル旋律をその場で作り変えて、前時の旋律と比べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムが反復しているモデルに変更しておく。 ・自分ももっとイメージに合うようにしたいという思いが児童から出てきたら、課題を提示する。 	<p>掲示物（楽譜）、iPad、TV</p>
8分	2. どんな工夫ができるか試し、考えを出し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題 よりイメージに合う旋律にするには、どんな工夫をするとよいか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の今の旋律を演奏したり、変えたりして試させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで話す時間を設定する。 ・ペアで交流した後に、全体で考えを出し合う。 	<p>iPad、鍵盤ハーモニカ、リコーダー</p>



和音の音で旋律をつくろう 6年 組 番名前

つくりたい旋律のイメージ 陽気な曲

↓

リズムを変える

iPad

iPad

iPad

iPad

振り返り① 今日決まったリズムと音で音楽をつくって、自分のイメージに合うものがなかなかできなくて音楽を作るのって難しいんだと感じました。



20分	3. リズムや音の動きを工夫し、イメージに合うように旋律をつくる。	<p>○自分の思いを旋律シートに位置付け、工夫して旋律をつくれるようにする。</p> <p>◎旋律の音の動きやフレーズのつなげ方の特徴を理解し、和音に含まれる音や例示されたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、反復、変化などを用いて自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。(記録分析)</p> <p>◎リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(発言・行動・記録分析)</p> <p>○ペアで演奏を聴きあうよう声をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の旋律と比べて、イメージにより合うか確認できるように、前回と今回の旋律を聴き合う。 ・イメージが伝わるかや旋律のよさを伝え合うように声をかける。 	iPad、鍵盤ハーモニカ、リコーダー
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> まとめ リズムや音の動きを工夫するとよりイメージが伝わるようになる。 </div>			
7分	4. つくった旋律を聴き合い、互いの旋律のよさやイメージに合うかを伝え合う。	<p>○めあてに対してのふりかえりやペアで聴き合った時のふりかえりを書くように声をかける。</p>	iPad
4分	5. 振り返りをする。	<p>○めあてに対してのふりかえりやペアで聴き合った時のふりかえりを書くように声をかける。</p>	iPad

1人1台端末の活用は効果的であったか

- 旋律シートを1人1台端末で操作したが、何度も試したり改良したりしやすく、児童が根気強く取り組むことができた。
- 旋律シートを授業終わりに提出箱に入れていたため、前時との変化を見ることも可能であった。
- ▲提出させた旋律シートを共有する際に、テレビに映すだけでなく全員が自分の手元で確認できるようにする等、アイデアを効果的に共有するための最適な方法を考える必要がある。

The image shows musical notation examples. The top part shows a 4/4 rhythm pattern with notes on a staff. Below it, there are two examples of rhythm patterns labeled 'リズム例' (Rhythm Examples). The first example shows a sequence of notes: quarter, quarter, quarter, quarter, eighth, eighth, quarter, quarter. The second example shows a sequence: quarter, quarter, quarter, quarter, eighth, eighth, quarter, quarter. Below the notation, there are two reflection boxes. The first box (green) says: '振り返り① 今日決まったリズムと音で音楽をつくって、自分のイメージに合うものがなかなかできなくて音楽を作るのって難しいんだなと感じました。' (Reflection 1: Today I made music with the decided rhythm and sound, but I felt it was difficult because I couldn't find something that matched my image.) The second box (pink) says: '振り返り② 今日前の授業で作った旋律のリズムを少し変えて、曲のイメージをもっとそれっぽくしてみたペアに吹いたら、前より陽気なイメージが強くなったねと言われたのでよかったです。' (Reflection 2: Today I changed the rhythm of the melody I made in the previous lesson a little, and when I played it to a pair, they said it sounded more cheerful than before, so I was happy.)